

提言書に対する御意見

●提言 A「子ども・若者の居場所づくり」(P.10)に関する御意見

No.	御意見	回答
1	6行目のユースサポーターのところで、令和7年度開設のため、「好循環を生んでいる」かどうかはまだわからない。「仕組みづくり」としてはどうか。	「ティーンズルームを利用した高校生がサポーターとして参画するという仕組みづくりができている点」に修正した。
2	2段落目の「新たな施設整備が困難な状況を踏まえ、児童館等の既存施設の活用等、更なる子ども・若者の居場所の確保の検討」については、「特に中高生の居場の確保」という記載にした方がよい。	「新たな施設整備が困難な状況を踏まえ、児童館等の既存施設の活用等、特に中高生の居場所の確保の検討」に修正した。
3	2段落目の3行目「若者が日常的に利用する通信ツール等も視野に入れ、より効果的な情報発信と周知活動をお願いしたい。」は若者だけでなく、「子ども」も入れてはどうか。	「子ども・若者が日常的に利用する通信ツール等も視野に入れ、より効果的な情報発信と周知活動をお願いしたい。」に修正した。

●提言 B「都市農業と触れ合う機会の拡充」(P.12)に関する御意見

No.	御意見	回答
1	1行目の「約99%が特定生産緑地に移行し」というところは、客観的に高いと判断できるよう、比較対象を入れた方がよい。	「全国(約89%)」という比較対象を追記した。
2	1行目の「約99%が特定生産緑地に移行し」というところは令和7年度以前と取組となるため、それがわかるよう記載をした方がよい。	評価できるポイントを「懸念された大幅な農地減少の回避につながったという点」ではなく、「現在に至るまで農地が継続的に確保されているという点」に修正することで、生産緑地法の改正に際し実施した取組が現在に至るまで影響を与えている点が分かるようにした。 併せてその後の文章について、「都市部において農地を維持することが非常に困難な環境下において、」を「都市部において農業者が経営を維持していくことが非常に困難な環境下において、」と修正することで農業者への提言がわかるようにした。
3	4行目の「結果として農業者数の減少を最小限にとどめている」という点は「最小限」の基準がわからないため、修正した方がよい。	農業者数については直近のデータをお示しすることができなかったため、認定農業者数に対する評価とわかるよう「認定農業者数の減少を最小限にとどめ、」とし「ほぼ横ばいで推移している」という文言に修正した。

4	7行目の「市民が農家と触れ合う..」のところ 前述が「学童農園の実施」といった子供たちのかわりを記載してあるので、「市民が」の前に「子供から大人まで一定数の市民が」と入れてはどうか。	「市民が農家と触れ合う機会が創出されていること」の前に「子どもから大人まで一定数の」という文言を追記した。
5	2段落目の3行目の担い手不足に関する提言について「抜本的な対策」という表現が強いため、例えば「多様な」という文言に修正してはどうか。	「多様な対策」に修正した。
6	2段落目の3行目の担い手不足の提言について、対策だけではなく、施策も追加した方がよい。	「多様な対策や施策の検討」と修正した。
7	2段落目の4行目、援農ボランティアに関する提言について「希望者と農家の双方にとって負担とならないよう」という記載があるが、「希望者」は「ボランティア」に統一した方がよい。	「希望者」を「ボランティア」に修正した。
8	最後の段落の「防災・景観・生態系・福祉・学習の場」という表現が具体的にイメージしづらいため表現を変えた方がよい。	「農産物の供給のみならず、防災、良好な景観の形成、緑の保全、農業体験・教育・学習の場」というわかりやすい表現に修正した。
9	最後の段落の「市民と農地が共生できるまちづくり」について、表現がわかりづらいため修正した方がよい。 「市民と農家が交流する機会を増やししながら双方が農地の維持共生を目指し」はどうか。	市民の視点での提言となるよう「都市農業の振興に対する市民の理解・関心を高め、」とし、狛江市らしさを活かした施策となるよう「狛江市の実情に即した施策を推進」に修正した。

●構成に関する御意見

No.	御 意 見	回 答
1	P.1の「はじめに」に市民委員が多く参加していることを追記するとよい。	P.1の「はじめに」の3段落目に「委員の構成は、10名のうち5名が市民委員となり、年齢や経歴も多様な委員で構成されたことから、より多角的な視点から市民目線を意識した提言に努めたところである。」という一文を追記した。
2	施策と事務事業の違いについて、市民にとってわかりやすくなるよう説明を加えてはどうか。	P.1の「はじめに」の下に政策と施策と事務事業の関係について図の説明を加え、視覚的にわかるよう修正した。
3	狛江市における「内部評価」と「外部評価」の位置づけがわかりにくいいため、もう少しわかりやすくしてはどうか。	P.2「外部評価の位置付け」および P.4 の図と説明を修正し、行政評価全体の中での各評価の役割と、今回の外部評価が市政にどう活かされるかの流れを明確にしました。

4	—	P.3の「委員会活動内容」に書面開催の実施を追記した。
5	P.13「6. おわりに」に「昨年度に引き続き、基本計画の推進を図るため」とあるが、後期基本計画策定後初めての委員会となるため、「昨年度に引き続き、」は不要ではないか。	「6. おわりに」の冒頭から「昨年度に引き続き、」の文言を削除した。
6	P.14 委員名簿の市民委員について名前順に修正した方がよい。	P.14「7. 狛江市基本計画推進委員会委員名簿」の公募市民について名前順に修正した。
7	「8. 参考資料」の章立てがローマ数字になっていると唐突感があるので、前述とあわせて(1)などとしてはどうか。	P.15「8. 参考資料」も本章と同じ章立てに修正した。
8	「8. 参考資料」に委員会の位置づけ(設置根拠)を記載してはどうか。	参考資料として関係例規を追加した。